

バルク用ガス漏れ検知器

型式名 **XH-611EB**

警報部 PA-5B / 検知部 GD-5B

取扱説明書・取付説明書

保証書付

このたびは、バルク用ガス漏れ検知器を、お取り付けいただきありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

なお、万一、本書を紛失されたときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

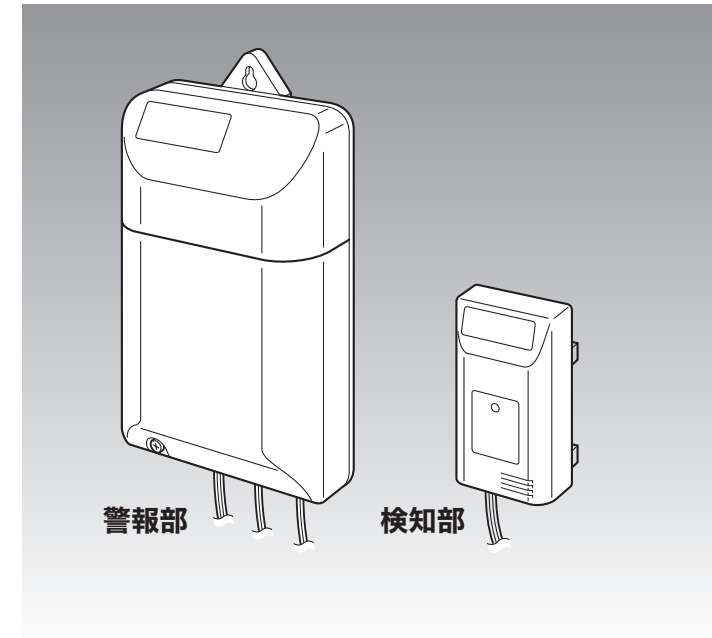
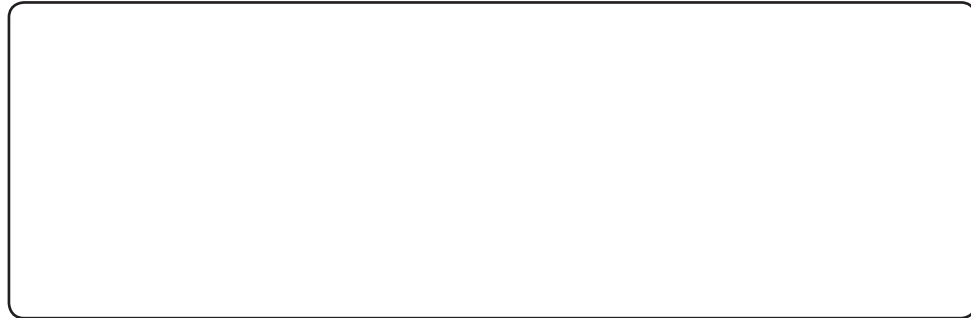
製造元



新コスモス電機株式会社

本社	〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4	(06)6308-3155(代)
[北海道]	札幌	(011)231-1101(代)
[中部]	名古屋	(052)951-2650(代)
[東北]	仙台	(022)295-6061(代)
[静岡]	静岡	(054)255-1901(代)
[北陸]	金沢	(076)234-5611(代)
[関西]	大阪	(06)6308-3155(代)
[四国・中国]	岡山	(086)435-5087(代)
[九州]	福岡	(092)431-1881(代)
[関東]	東京	(03)5403-2706(代)
	新潟	(025)365-1390(代)
	広島	(082)568-2800(代)

販売店



安全上のご注意	2	1.施工される方への お願いとご注意	15
各部のなまえとはたらき	3	2.取り付け前の確認	16
検知部のお知らせ機能について	5	3.本体の取り付け	20
電池の交換	11	4.機器の接続	21
故障かな?と思ったら	13	■LPG充填時および設備点検時の お願い	26
仕様	14	5.点検方法(取り付け後の点検 および日常点検)	27
アフターサービスについて	15	保証書	30

検知器の機能について

この検知器は、LPガスのバルク供給設備専用のガスもれ検知器です。集中監視システムのNCU（伝送装置）に接続して使い、検知部周囲のLPガスが規定濃度以上になると、検知器はそれを検知し、集中監視センターに信号を送ります。

《お断わり》

- LPガスのバルク供給設備以外には使用しないでください。
- ガスもれの発生を未然に防止する装置ではありません。ガスもれなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 不完全燃焼ガス検知機能はありません。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

 「一般的な禁止」事項を示しています。

 「分解禁止」事項を示しています。

 「ぬれ手禁止」事項を示しています。

 「水ぬれ禁止」事項を示しています。

 「必ず行う」事項を示しています。

警告



分解や改造はしないでください。発火・故障の原因となります。



落下させたり、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

注意



お取り付け日から、10年（交換期限）を過ぎた警報部・3年（交換期限）を過ぎた検知部は、新しいものとお取り替えてください。正常に作動しない恐れがあります。交換期限は、それぞれの本体に貼ってある交換期限ラベルに示しています。



水につけたり、水をかけたりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。



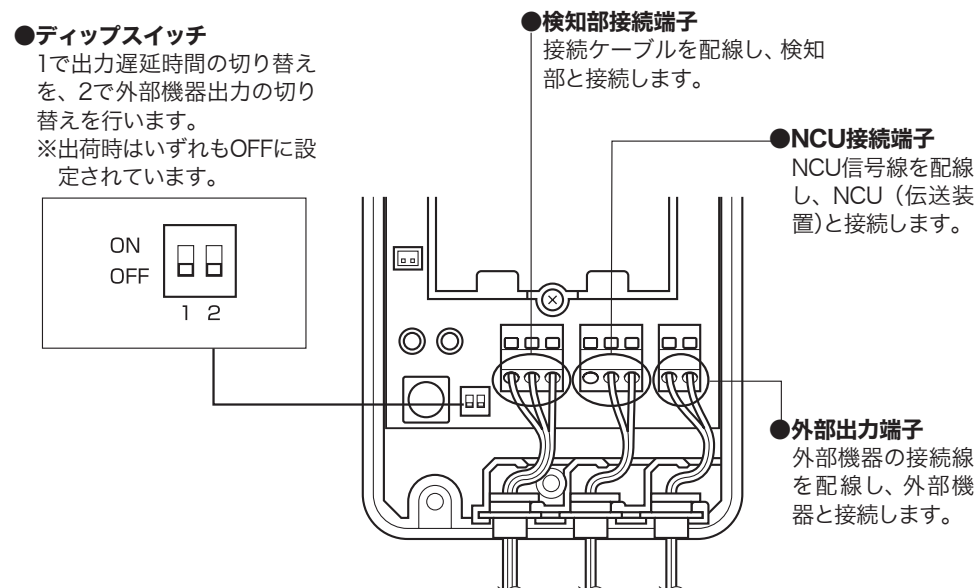
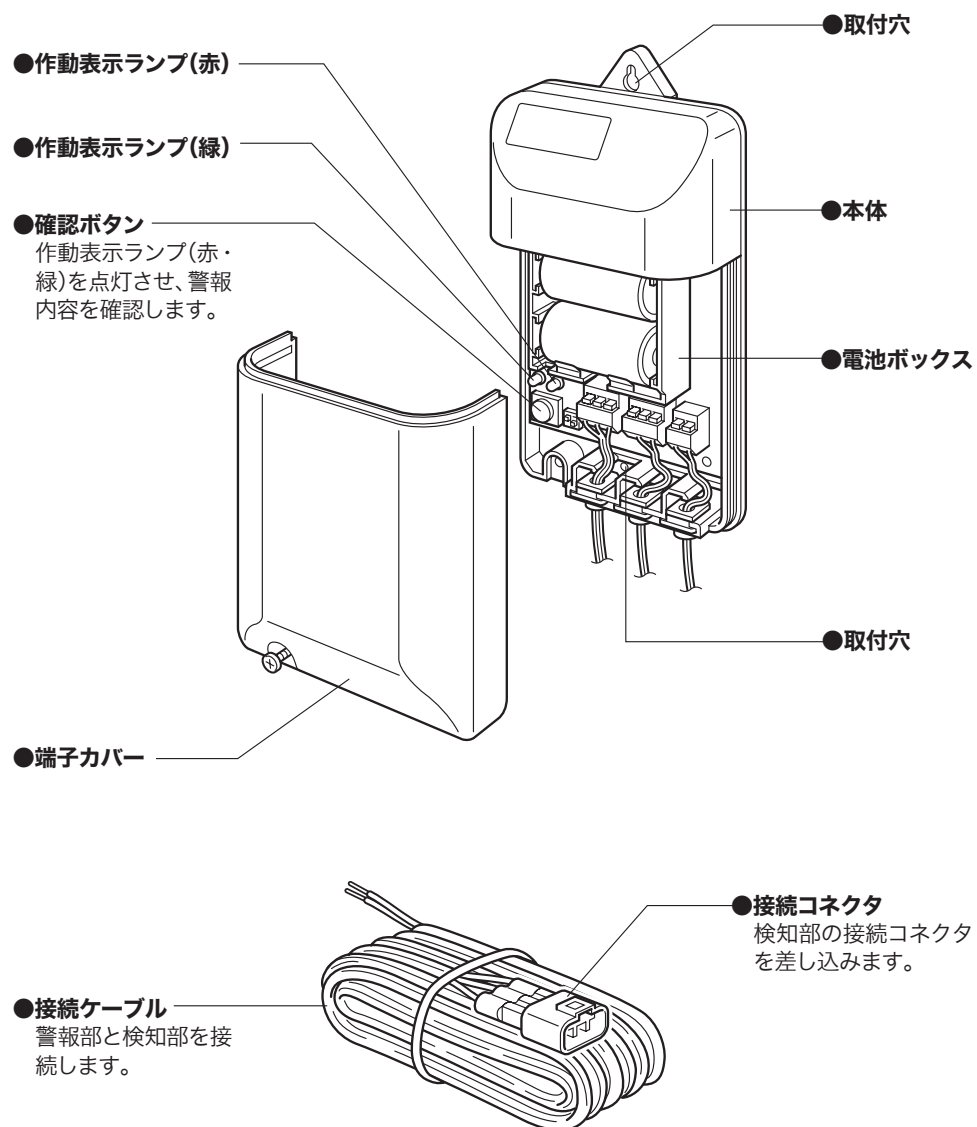
ぬれた手で触らないでください。感電する恐れがあります。



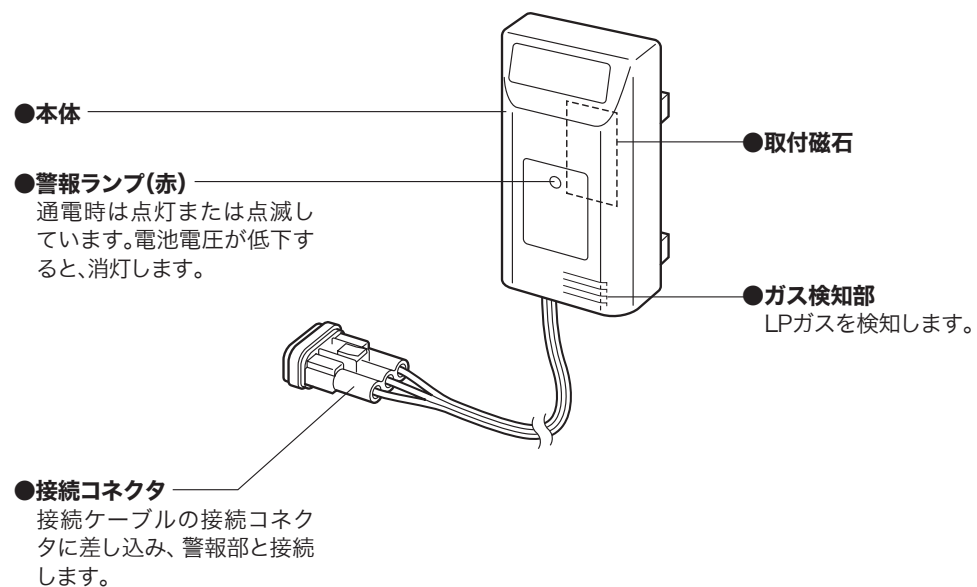
お手入れするときは、中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。中性洗剤などを使うと、本体の表面に傷がつくことがあります。

各部のなまえとはたらき

〈警報部〉



〈検知部〉



検知器のお知らせ機能について

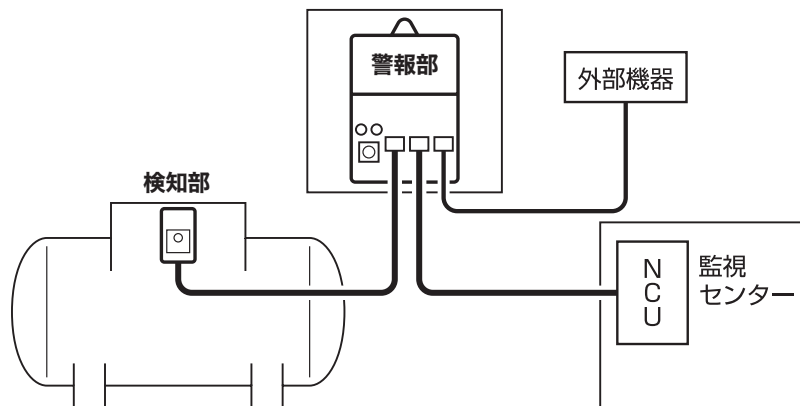
この検知器は、検知部でガスもれを検知し、警報部から、信号をNCU(伝達装置)に出力します。NCU(伝達装置)への出力は、接続方法によって、ガスもれ警報とその他の警報を分けて出力できます。(P21参照)

また、外部機器に信号を出力する端子も備えています。(P22参照)

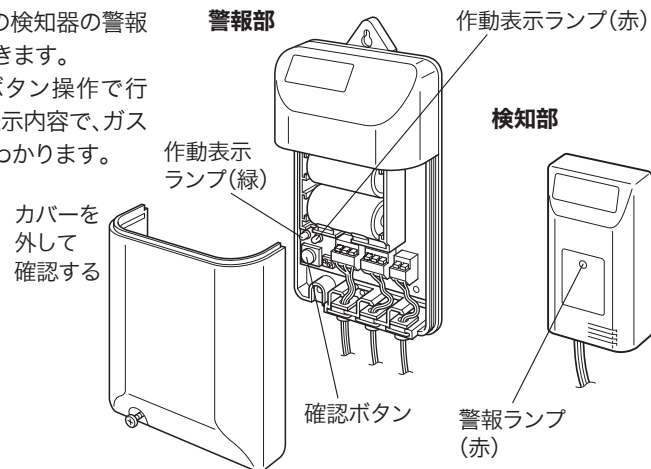
お知らせする機能(ランプ表示・信号出力)は、ガスもれ以外に、電池電圧の低下や機器に異常があったときにもランプ表示や信号出力を行います。

〈おねがい〉

NCUの入力端子に空きがある場合は、ガスもれ警報とその他の警報を分けて出力することをお勧めします。



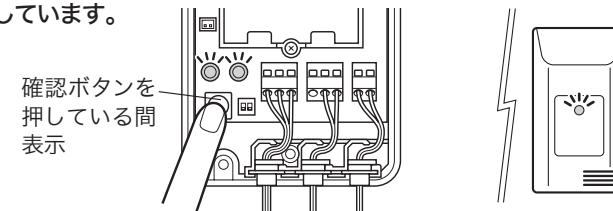
警報(出力)があった際に、この検知器の警報部(現場)で検知原因を確認できます。確認作業は、警報部の確認ボタン操作で行い、警報部と検知部のランプ表示内容で、ガスもれなどの警報(通報)原因がわかります。



〈警報(出力)原因が続いている場合〉

確認ボタンを押している間、警報部のランプが表示されます。

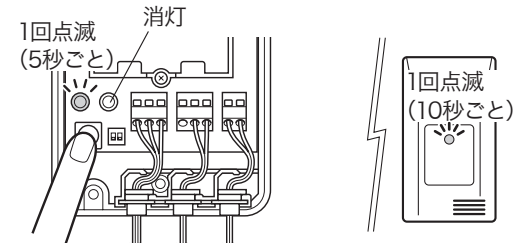
※検知部は、復旧するまで表示しています。



〈復旧して、監視状態になっている場合〉

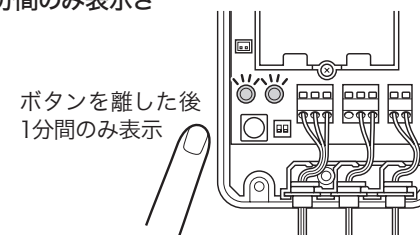
右図の表示の場合には、警報状態から復旧して、監視状態になっています。

監視状態



確認ボタンを押した指を離すと、直前の警報原因が、警報部のランプで1分間のみ表示されます。

(警報終了後3日間保持)



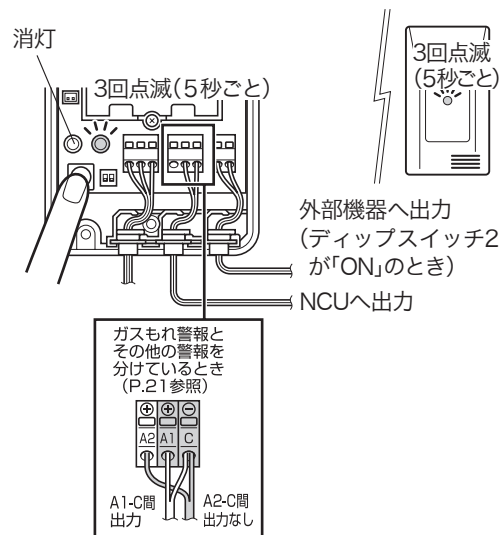
〈警報(出力)原因が続いているときの表示〉
(確認ボタンを押している間)

■ガスもれするとき

警報部 (ボタンを押している間)		検知部
作動表示ランプ		警報ランプ
緑	赤	赤
消灯	3回点滅 (5秒ごと)	3回点滅 (5秒ごと)

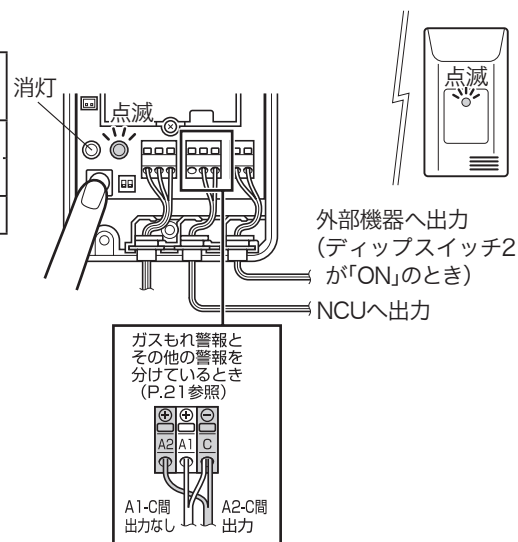
- 出力遅延設定 (ディップスイッチ1をON) をしている場合は、ランプ表示がガスもれに変わってから90秒後に出力されます。

※警報部はガスもれを検知した最初の60秒間は、監視状態の表示が続き、その後ガスもれの表示に変わります。
(検知部はガスもれを検知した時点からガスもれの表示を行います。)



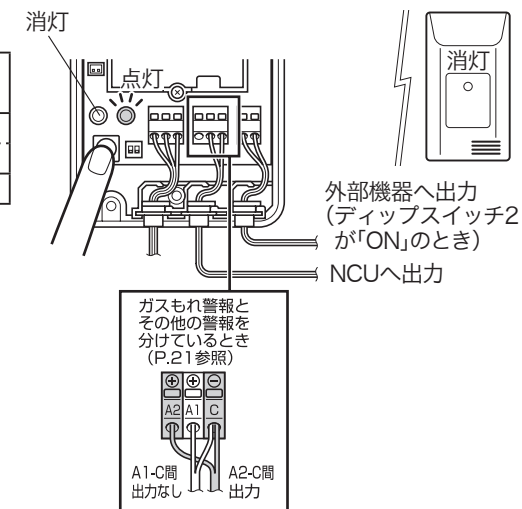
■検知部のセンサに異常があるとき

警報部 (ボタンを押している間)		検知部
作動表示ランプ		警報ランプ
緑	赤	赤
消灯	点滅	点滅



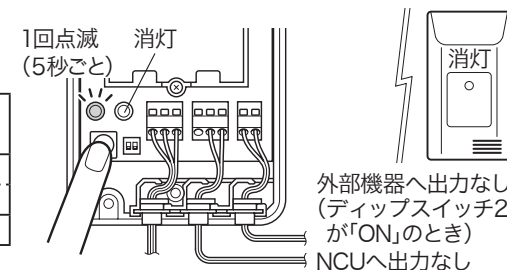
■電池の電圧が低下してきたとき

警報部 (ボタンを押している間)		検知部
作動表示ランプ		警報ランプ
緑	赤	赤
消灯	点灯	消灯



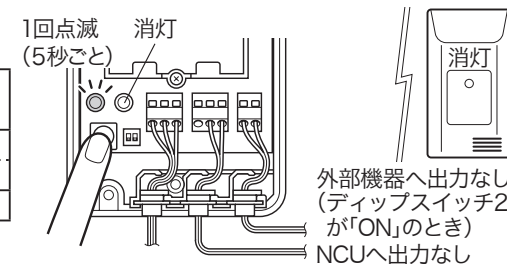
■検知部のケーブルが断線したとき
S(信号線)

警報部 (ボタンを押している間)		検知部
作動表示ランプ		警報ランプ
緑	赤	赤
1回点滅(5秒ごと)	消灯	消灯



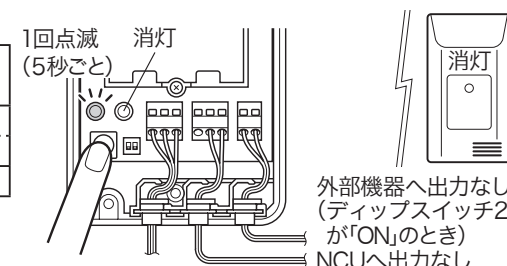
V(電源線)

警報部 (ボタンを押している間)		検知部
作動表示ランプ		警報ランプ
緑	赤	赤
1回点滅(5秒ごと)	消灯	消灯



G(一線)

警報部 (ボタンを押している間)		検知部
作動表示ランプ		警報ランプ
緑	赤	赤
1回点滅(5秒ごと)	消灯	消灯

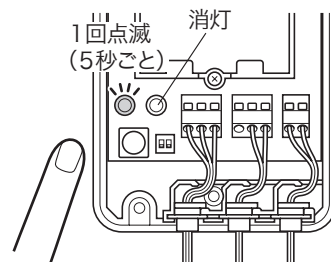


〈復旧して、監視状態になっているときの表示(警報終了後3日間保持)〉

(確認ボタンを離した後の1分間)

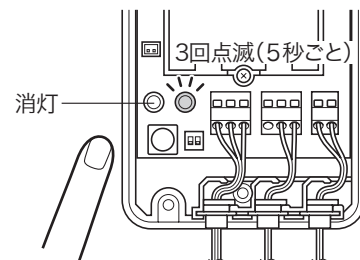
■監視状態のとき

警報部 (ボタンを離した後1分間)	
作動表示ランプ	
緑	赤
1回点滅 (5秒ごと)	消灯



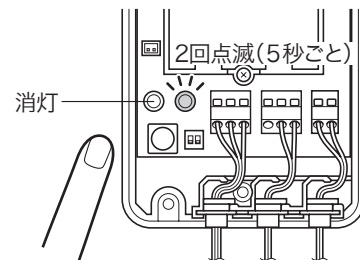
■ガスもれ警報があったとき

警報部 (ボタンを離した後1分間)	
作動表示ランプ	
緑	赤
消灯	3回点滅 (5秒ごと)



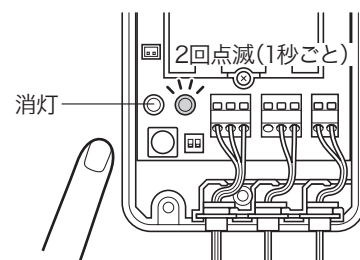
■検知部のセンサに異常があったとき

警報部 (ボタンを離した後1分間)	
作動表示ランプ	
緑	赤
消灯	2回点滅 (5秒ごと)



■機器に異常があるとき

警報部 (ボタンを離した後1分間)	
作動表示ランプ	
緑	赤
消灯	2回点滅 (1秒ごと)



検知部のセンサやケーブルの異常を除く、機器 (警報部・検知部) 自体に異常が発生したときに表示されます。

〈検知器の動作一覧表〉

■警報(出力)原因が続いている場合の動作

検知器の作動状況			警報部		検知部	外部出力信号※1			
			作動表示ランプ (ボタンを押している間)		警報 ランプ	NCU接続端子※2			外部出力 端子※3
						通常出力	ガスもれ警報と その他の警報を 分けて出力する場合		
			緑	赤	赤	A1-C間	A1-C間	A2-C間	A3-A3間
監視時			1回点滅 (5秒ごと)	消灯	1回点滅 (10秒ごと)	OFF	OFF	OFF	OFF
点検モード時			1回点滅 (5秒ごと)	消灯	1回点滅 (5秒ごと)	OFF	OFF	OFF	OFF
ガスもれ警報時			消灯	3回点滅 (5秒ごと)	3回点滅 (5秒ごと)	ON	ON	OFF	ON
センサトラブル時			消灯	点滅	点滅	ON	OFF	ON	ON
電池電圧低下時			消灯	点灯	消灯	ON	OFF	ON	ON
検知部との接続 トラブル時	ケーブル 誤配線時	S-V 入れ替わり	消灯	点灯	消灯	OFF	OFF	OFF	OFF
		S-G 入れ替わり	消灯	点灯	消灯	OFF	OFF	OFF	OFF
		V-G 入れ替わり	消灯	消灯	消灯	OFF	OFF	OFF	OFF
	ケーブル 断線または 接続はずれ時	S (信号線)	1回点滅 (5秒ごと)	消灯	消灯	OFF	OFF	OFF	OFF
		V (電源線)	1回点滅 (5秒ごと)	消灯	消灯	OFF	OFF	OFF	OFF
		G (一線)	1回点滅 (5秒ごと)	消灯	消灯	OFF	OFF	OFF	OFF

※1 ディップスイッチ1を切り替えることによって外部出力信号の遅延時間を設定できます。(出荷時はOFF設定)
ON: 遅延90秒 OFF: 遅延なし

※2 NCUへの出力を、ガスもれ警報とその他の警報に分けて出力することができます。設定方法は(P21)を参照ください。

※3 ディップスイッチ2を切り替えることによって外部出力端子の使用有無を設定できます。(出荷時はOFF設定)
ON: 出力あり OFF: 出力なし

■復旧して、監視状態になっている場合の動作(警報終了後3日間保持)

検知器の作動状況		警報部	
		作動表示ランプ (ボタンを離した後1分間)	
		緑	赤
警報 (出力) 原因表示	監視時	1回点滅 (5秒ごと)	消灯
	ガスもれ警報時	消灯	3回点滅 (5秒ごと)
	センサトラブル時	消灯	2回点滅 (5秒ごと)
	機器異常時	消灯	2回点滅 (1秒ごと)

電池の交換

電池電圧が低下すると、検知器は信号を発しますので、電池を交換してください。
警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(赤)が連続点灯します。
検知部の警報ランプ(赤)は消灯します。

⚠ 注意

使用する電池は、2本とも使用期限内の新しいものにしてください。

液もれや発火の恐れがあります。

〈おねがい〉

- 電池交換する際に、火花の散る恐れがあります。バルク貯蔵設備※1から2mまたは5m以上離れて電池交換してください。

※1：貯蔵設備が300kg以上1000kg未満は2m以上、1000kg以上3000kg未満は5m以上

- 必ず単2形アルカリ乾電池を使用してください。それ以外の電池を使用すると、電池寿命が短くなることがあります。

- ①警報部の端子カバーを取り外す。
 - ②古い電池を取り外す。
- ※電池および検知部の交換作業により、信号出力することはありません。
- ③警報部の電池ボックスに、単2形アルカリ乾電池(2本)を入れる。(電源投入)
検知部の警報ランプ(赤)が点灯します。

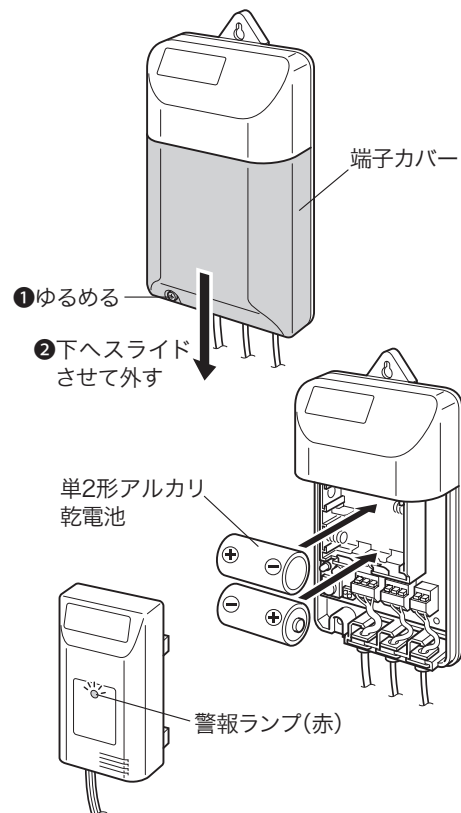
■ガスもれ警報とその他の警報を分けて出力している場合(21ページ)

※電池交換等によって設定がリセットされます。そのため再設定が必要となりますので、下記の操作を行ってください。

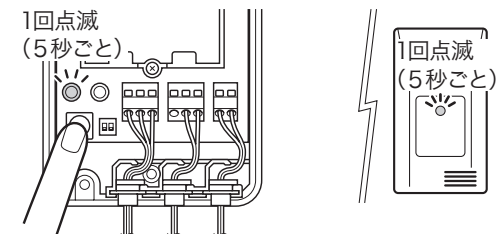
- 1)確認ボタンを押しながら、警報部の電池ボックスに、単2形アルカリ乾電池(2本)を入れる。(電源投入)
- 2)作動表示ランプ(緑)が3回点滅し、設定が完了したことをお知らせします。

《お断わり》

- 周囲温度20℃の環境において、連続して監視している状況で、ガスもれ警報発報時間が合計1週間以内の場合、約2.5年間の電池寿命があります。2.5年ごとに新しい電池と交換することをおすすめします。
- 交換した電池の状況によっては、電池寿命が短くなる場合があります。
- 使用環境によっては、電池寿命が短くなる場合があります。(一般に、低温環境下で使用すると、電池寿命は短くなります。)

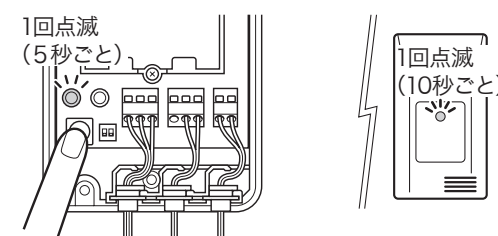


- ④約50秒後、検知部の警報ランプ(赤)が5秒ごとに1回の点滅に変わります。
このとき、警報部の作動確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(緑)が5秒ごとに1回点滅します。



5分後

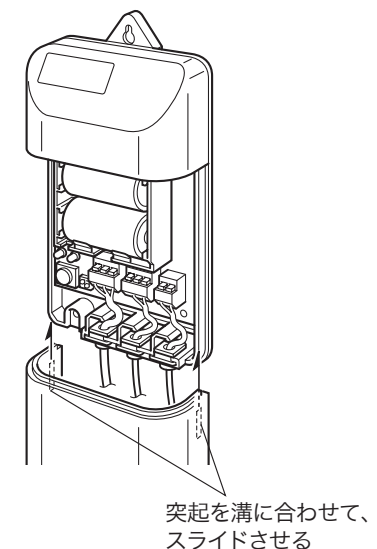
- ⑤約5分後、検知部の警報ランプ(赤)が10秒ごとに1回の点滅に変わり、検知器は監視状態に入ります。
このとき、警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(緑)が5秒ごとに1回点滅します。



- ⑥警報部の端子カバーを閉める。

〈おねがい〉

接続ケーブル、NCU信号線、外部機器との接続線を端子カバーではさまないように注意してください。



故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
検知部の警報ランプが消灯している。	▶ 検知部の接続コネクタがきちんと接続されていますか。	▶ 接続ケーブルのコネクタをカチッとほめるまで確実に差し込んでください。
	▶ 検知部のケーブルが誤配線されていませんか。	▶ P.10を確認し、配線し直してください。
	▶ 検知部のケーブルが断線していませんか。	▶ P.10を確認し、断線したケーブルを交換してください。
	▶ 検知部のケーブルが外れていませんか。	▶ 警報部の端子台にケーブルを確実に差し込み固定してください。
	▶ 電池が古くなっていませんか。	▶ 電池を交換してください。
検知部の警報ランプが点灯している。	▶ 電源投入時【センサの安定時間（約 50 秒）】に点灯します。	▶ 異常ではありません。従来機種（GD-4B）と初期動作の違いがあるため、P.24の初期動作の違いを確認してください。
検知部の警報ランプが点滅している。	▶ ガスセンサの異常が考えられます。	▶ お求めの販売店に連絡してください。
外部出力端子（A3-A3）が作動しない。	▶ ケーブルが断線していませんか。	▶ 断線したケーブルを交換してください。
	▶ ケーブルが外れていませんか。	▶ 警報部の端子台にケーブルを確実に差し込み固定してください。
	▶ ディップスイッチ2が「ON」になっているか確認してください。	▶ ディップスイッチ2を「ON」にしてください。
警報を分けて配線したが、警報出力が分かれて出力されない。	▶ ケーブルが断線していませんか。	▶ 断線したケーブルを交換してください。
	▶ ケーブルが外れていませんか。	▶ 警報部の端子台にケーブルを確実に差し込み固定してください。
	▶ —	▶ 確認ボタンを押しながら、電池を入れ直してください。

仕様

項目	仕様
検知対象ガス	液化石油ガス（LPガス）
警報ガス濃度	爆発下限濃度*1の1/100以上1/4以下
検知原理	微小熱線型半導体式
警報方式	検知部 赤ランプ点滅（5秒ごとに3回）（自動復帰式）
応答時間	300秒（5分）以内
外部出力信号	NCU 接続端子出力 無電圧1a接点出力 有極性 監視時OFF 警報時ON A1-C端子間、A2-C端子間の2系統*2 耐電圧DC5V 10mA、以下 ガス検知時、センサトラブル時、電池電圧低下時に信号を出力
	外部出力端子出力*3 無電圧1a接点出力 無極性 監視時OFF 警報時ON A3-A3端子間 耐電圧DC30V、0.5A以下（抵抗負荷） ガス検知時、センサトラブル時、電池電圧低下時に信号を出力
	遅延時間 即時または90秒遅延*4
電源	単2形アルカリ乾電池 2本、DC3V
通電表示	検知部 赤ランプ点滅（10秒ごとに1回）
電池寿命	約2.5年 （周囲温度20℃の環境において、ガスもれ警報発報時間が合計1週間以内の場合）
使用温度範囲	-10℃～+50℃
寸法・質量	警報部 幅96×高さ173×奥行き40mm（突起部を除く）、約400g（電池を含む）
	検知部 幅43×高さ79×奥行き24mm（突起部を除く）、約100g
接続ケーブル	長さ10m 0.3mm ² 3心 防水コネクタ付 延長可能距離50m以内（0.5mm ² ） （延長ケーブル使用時、本ケーブルを含む）
付属品	XH-611EB 単2形アルカリ乾電池×2、接続ケーブル（10m）×1 木ネジ（φ3.8×25mm）×2 点検ガス、×1、点検用ポリ袋（チャック付）×1 点検説明書×1、取扱説明書・取付説明書（保証書付）（本書）×1
	GD-5B 変換用ケーブル×1、点検ガス×1、点検用ポリ袋（チャック付）×1、 点検説明書×1、取扱説明書・取付説明書（保証書付）（本書）×1

* 1 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲でおこる可能性があります。その範囲を爆発限界といつて、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

* 2 警報出力選択：NCU への出力を、ガスもれ警報とその他の警報に分けて出力することができます。

* 3 外部出力端子選択：ディップスイッチ 2 により切替可能（出荷時は OFF 設定）

ON：出力あり OFF：出力なし

* 4 出力遅延時間選択：ディップスイッチ 1 により切替可能（出荷時は OFF 設定）

ON：遅延 90 秒 OFF：遅延なし

アフターサービスについて

- この検知器は、お取り付け日より1年間の無償保証です。

この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、検知器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。

ただし、保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

- この検知器の交換期限は、警報部がお取り付け後10年間、検知部がお取り付け後3年間です。

交換期限とは検知器の性能を保証できる期間であり、10年を経過した警報部および3年を経過した検知部は、規定の濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しいものとお取り替えください。

《お断わり》

交換期限は、保証書記載の年月よりも、検知器本体に貼ってある交換期限ラベルに記載の年月が優先されますので、交換期限ラベルの年月を確認してください。

1.施工される方へのお願いとご注意

- 検知器の取り付けは、この取付説明書に従って、指定された工事を行ってください。(P.20参照)

- 工事終了後に、必ず作動点検を行ってください。(P.27 ~ P.29参照)

万一、作動不良があったときは交換してください。

- 保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となることがあります。

お取り付け時にご確認ください。

- 保証書は大切に保管してください。

- アフターサービスについて、ご不明の点がございましたら、お求めの販売店までご連絡ください。

- 検知器の交換期限を過ぎたときは、お求めの販売店までご連絡ください。

⚠ 注意

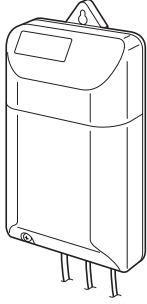
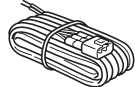
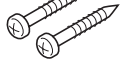
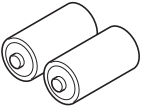
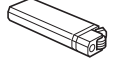
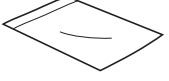
検知器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因となります。

2.取り付け前の確認

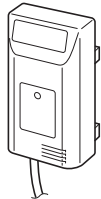
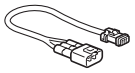
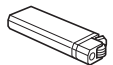
2-1.梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

XH-611EB

警報部本体 PA-5B…1個	接続ケーブル (10m) LL-08…1本
	
	木ネジ…2本
	
	単2形アルカリ乾電池…2本
	
	点検ガス…1個
	
	点検用ポリ袋 (チャック付) …1個
	
	点検説明書、取扱説明書・ 取付説明書 (保証書付) (本書) …各1冊

GD-5B

検知部本体 GD-5B…1個	変換用ケーブル LL-09…1本
	
	点検ガス…1個
	
	点検用ポリ袋 (チャック付) …1個
	
	点検説明書、取扱説明書・ 取付説明書 (保証書付) (本書) …各1冊

2.取り付け前の確認

2-2.交換期限の記入

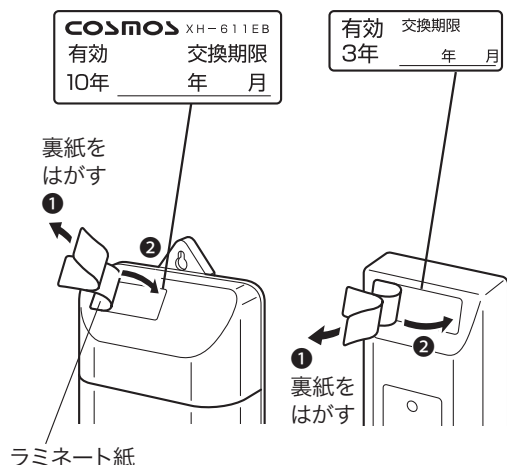
- ① 警報部と検知部の交換期限ラベルに、それぞれ以下の交換期限を記入する。

警報部：お取り付け日から10年後（西暦）の同月

検知部：お取り付け日から3年後（西暦）の同月

※ 記入は、ボールペンやシャープペンシルでもできますが、油性ペンをお勧めします。

- ② ラミネート紙の裏紙をはがし、記入部分を保護する。



2-3.取付位置の確認

〈警報部〉

NCU（伝送装置）とともにボックスに入れて収納するか、または、軒下などの壁面に取付けてください。

※点検しやすく、管理上支障のない場所を選んでください。

プロテクタ内には設置しないでください。

⚠ 注意

以下のような場所には、警報部を取り付けないでください。

- 常時、直射日光にさらされる場所。
- 雨が直接かかる場所。
- 常に水がかかったり、水没する恐れのある場所。

警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

〈おねがい〉

電池交換する際に、火花の散る恐れがあります。バルク貯蔵設備※1から2mまたは5m以上離して電池交換してください。

※1：貯蔵設備が300kg以上1000kg未満は2m以上、1000kg以上3000kg未満は5m以上

〈検知部〉

プロテクタ内側の金属の平面部などに、取付けてください。

※金属の材質によっては磁石で取り付けできない場合があります。その場合は、できるだけ安定した場所に置いてください。

⚠ 注意

できるだけ調整器から離して、検知部を取り付けてください。

調整器からのガスに反応する恐れがあります。

〈おねがい〉

できるだけ水没などの影響を受けない場所に取付けてください。



必ず行う

調整器からのLPガスに反応することを避けるため、ガス漏れ検知部は調整器より高い位置、離れた位置に取り付けてください。



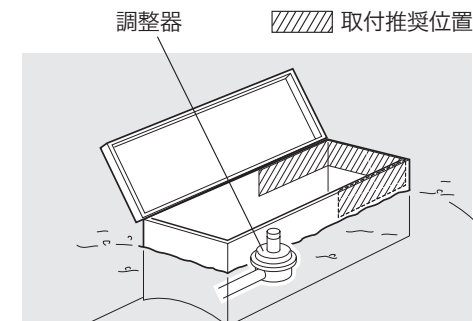
必ず行う

プロテクタ内にシリコン系シーリング材や充填材が使用されていないことを確認してください。

■埋設型バルクの場合

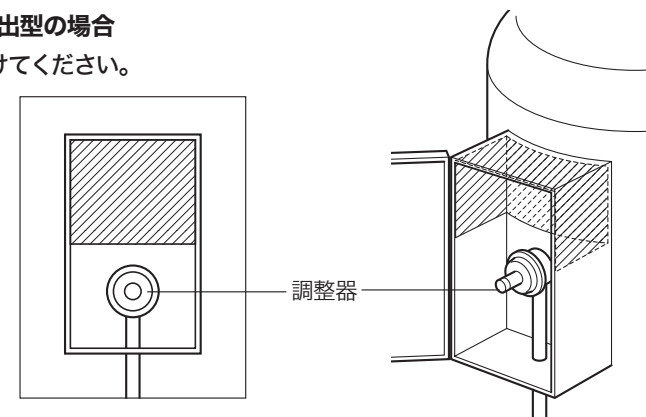
できるだけ調整器から離して、プロテクタの上部側面に取り付けてください。

※調整器に安全弁用の吹き出し口がある場合は、吹き出し口の反対側に取り付けてください。



■地上式縦型バルク横取出型の場合

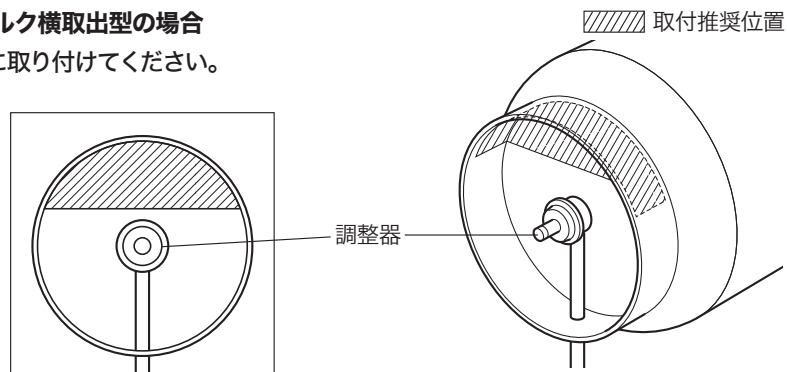
調整器よりも上に取り付けてください。



2.取り付け前の確認

■地上式横型バルク横取出型の場合

調整器よりも上に取り付けてください。



■地上式横型バルク上取出型の場合

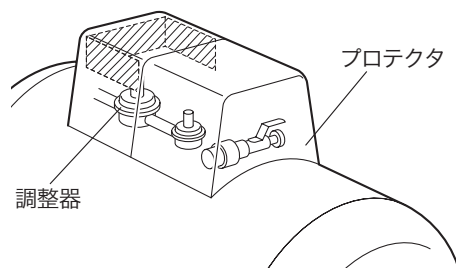
●プロテクタに取り付ける場合

できるだけ調整器から離して、プロテクタの上部側面に取り付けてください。

※プロテクタを開閉する可動側には取り付けしないでください。

開閉により検知部に落下・衝撃などが加わる恐れがあります。

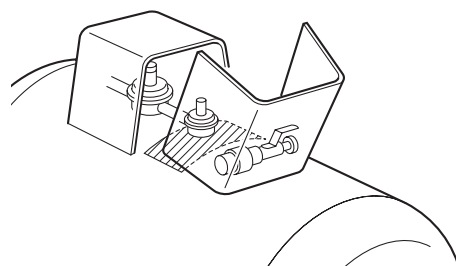
※調整器に安全弁用の吹き出し口がある場合は、直接吹き出したガスが当たらない位置に取り付けてください。



●タンクに取り付ける場合

できるだけ調整器から離して、タンクに取り付けてください。

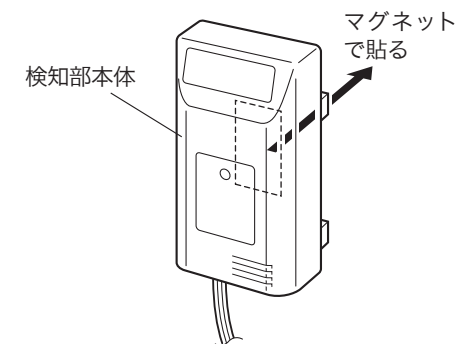
※調整器に安全弁用の吹き出し口がある場合は、直接吹き出したガスが当たらない位置に取り付けてください。



3.本体の取り付け

3-1.本体の取り付け

①検知部を、プロテクタ内側の金属の平面部などに、磁石を利用して取り付ける。



②警報部の取付位置を、検知部から10m以内になるように選定する。

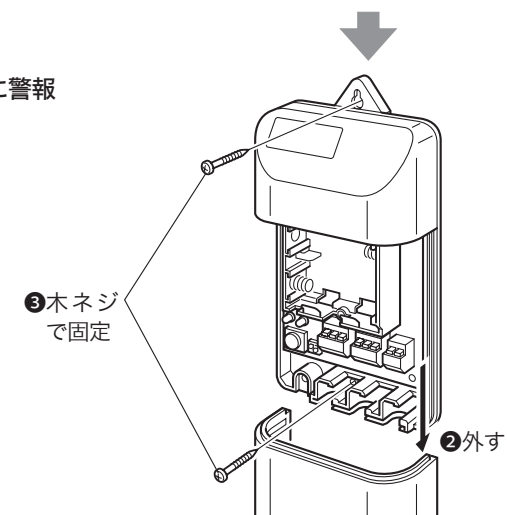
《お断わり》

警報部と検知部を接続する、付属の接続ケーブルの長さは10mです。警報部-検知部間の配線距離が10m以上になる場合は、別途、延長ケーブル（線材）が必要になります。（P.25 参照）



③警報部の端子カバーを取り外す。

④木ネジ(2本)をねじ込み、図のように警報部を固定する。



4.機器の接続

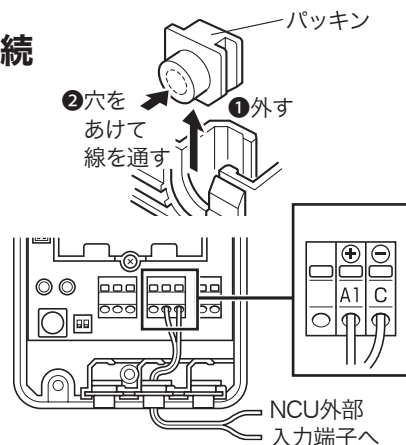
機器を接続するときは、警報部の電池ボックスに電池を入れないでください。
誤作動の恐れがあります。

4-1.警報部とNCU（伝送装置）の接続

《お断わり》

NCUとの接続に使用する接続線は付属しておりませんので、別途ご用意ください。

- ① 警報部下部のパッキン(中央)を取り外し、ドライバーなどで穴を開ける。
- ② 穴を開けたパッキンにNCU信号線を通す。
- ③ NCUの外部入力端子と警報部のNCU接続端子A1・Cを接続する。
端子接点定格：耐電圧DC5V
最大電流10mA



■ガスもれ警報とその他の警報を分けて出力する場合

この場合、確認ボタンを押しながら、電池を入れる操作が必要です。(P27参照)
右図のように、NCU接続端子のA2・A1・Cに接続する。

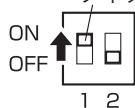
《確認》

- NCUの外部入力端子の極性を確認する。警報部のNCU接続端子には＋の極性があり、A1端子からC端子方向へのみON電流が流れます。
- NCU信号線が正しく確実に接続されていることを確認する。NCU信号線が警報部のNCU接続端子に正しく接続されていないと、正常に作動しません。

- ④ パッキンを警報部に取り付ける。

- ⑤ 遅延設定を行う場合

ディップスイッチ1を「ON」にする。
ON：出力遅延時間90秒
OFF：即時出力



《お断わり》

遅延設定を行うと、外部機器への出力も同時に遅延設定されます。

機器を接続するときは、警報部の電池ボックスに電池を入れないでください。
誤作動の恐れがあります。

4-2.外部機器との接続

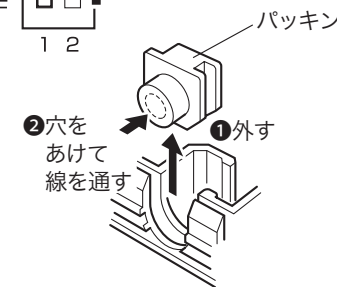
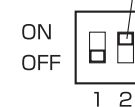
無電圧1a接点で作動する外部機器（回転灯など）を同時に接続することができます。

《お断わり》

外部機器との接続に使用する接続線は付属しておりませんので、別途ご用意ください。

- ① ディップスイッチ2を「ON」にする。
- ② 警報部下部のパッキン(右端)を取り外し、ドライバーなどで穴を開ける。
- ③ 穴を開けたパッキンに接続線を通す。
- ④ 外部機器の入力端子と警報部の外部機器接続端子A3・A3を接続する。
端子接点定格：耐電圧DC30V
最大電流0.5A（抵抗負荷）

ディップスイッチ2



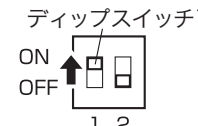
《確認》

外部機器との接続線が正しく確実に接続されていることを確認する。接続線が警報部の外部機器接続端子に正しく接続されていないと、正常に作動しません。

- ⑤ パッキンを警報部に取り付ける。

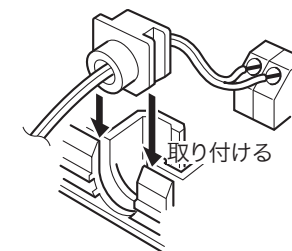
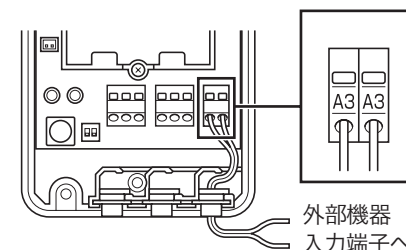
- ⑥ 遅延設定を行う場合

ディップスイッチ1を「ON」にする。
ON：出力遅延時間90秒
OFF：即時出力



《お断わり》

遅延設定を行うと、NCUへの出力も同時に遅延設定されます。



4.機器の接続

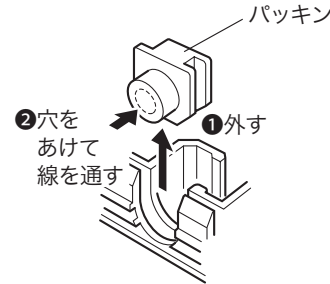
機器を接続するときは、警報部の電池ボックスに電池を入れないでください。
誤作動の恐れがあります。

4-3.警報部と検知部の接続

〈新規にXH-611EBを取り付けた場合〉

■警報部PA-5Bと検知部GD-5Bの接続

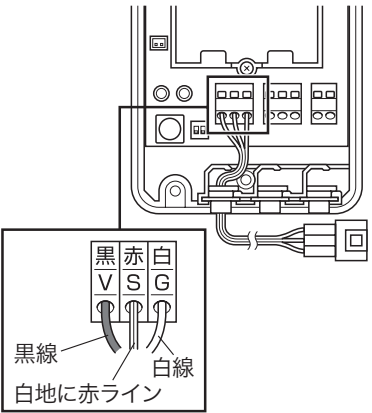
- ① 警報部下部のパッキン(左端)を取り外し、ドライバーなどで穴を開ける。
- ② 穴を開けたパッキンに接続ケーブルを通す。



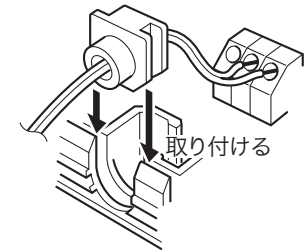
- ③ 接続ケーブルを警報部の検知部接続端子に接続する。

〈確認〉

接続ケーブルが正しく確実に接続されていることを確認する。接続ケーブルが警報部の検知部接続端子に正しく接続されていないと、正常に作動しません。



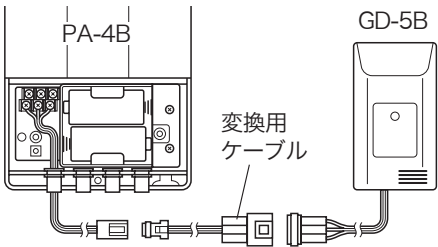
- ④ パッキンを警報部に取り付ける。



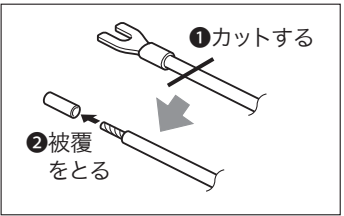
〈既存品XH-610EBを使用する場合〉

■警報部PA-4Bと検知部GD-5Bの接続

別売の変換用ケーブル (LL-09) で接続する。
※GD-5B単品梱包品の場合は、変換用ケーブルを付属しています。

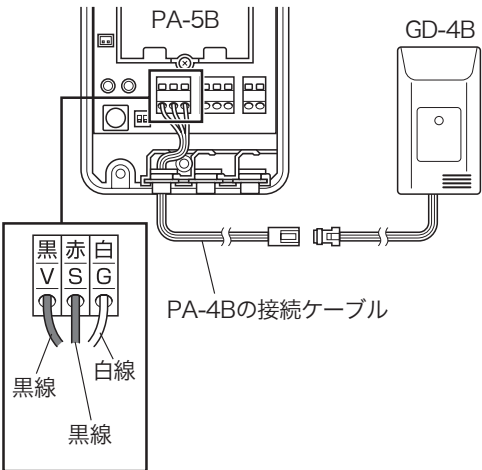


■警報部PA-5Bと検知部GD-4Bの接続



※ GD-4Bを接続する場合、初期作動がGD-5Bとは下表のように異なります。

検知器	作動状態		
	初期安定時	点検モード時	監視時
GD-4B	1 回点滅 (5 秒ごと)		1 回点滅 (10 秒ごと)
GD-5B	点灯	1 回点滅 (5 秒ごと)	1 回点滅 (10 秒ごと)



※黒線を接続する場合は、配線の並びに注意してください。

4.機器の接続

4-4ケーブルの延長

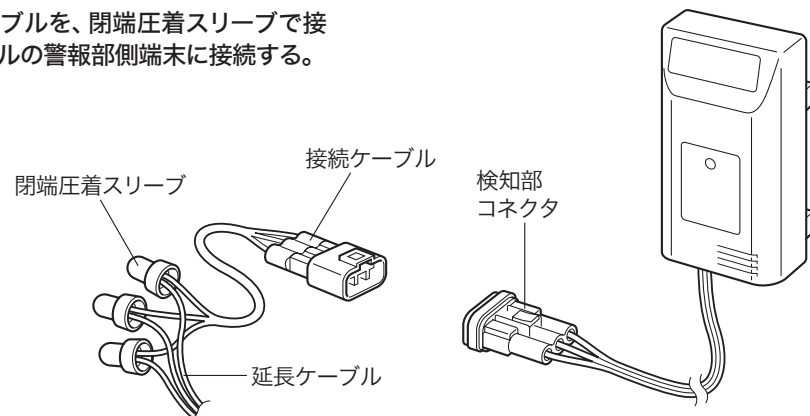
警報部と検知部を接続する、付属の接続ケーブルの長さは10mです。警報部-検知部間の配線距離が10m以上になる場合は、延長ケーブル（指定線材）を使用して、以下の配線工事を行ってください。

〈準備するもの〉

●延長ケーブル（指定線材）
HKVF（通信機器用二種ビニルコード）
0.5mm²以上 3心
または
VCTF（ビニルキャブタイヤ丸形コード）
0.5mm²以上 3心
※線色などで極性が区別できるもの

- 閉端圧着スリーブ
- ビニルテープ
- 充填材
- ガス配管用シール材

- ①延長ケーブルを、閉端圧着スリーブで接続ケーブルの警報部側端末に接続する。



〈おねがい〉

延長ケーブルの接続は、必ず接続ケーブルの警報部側端末で行ってください。検知部は3年で交換が必要になるため、検知部側末端では行わないでください。

《お断わり》

ケーブルの延長可能距離は、付属の接続ケーブルを含め50mまでです。

ガス検知センサに影響が比較的少ないシール材・充填材は、以下のものがあります。
ガス配管用シール材：スリーボンド4325
目地用充填材：セメダインPOSシール・セメダインウレタンシールS700-M

⚠ 注意

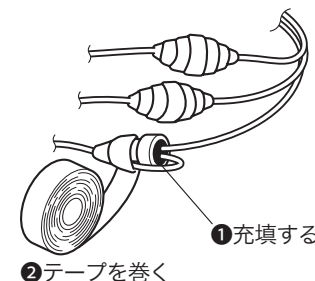
検知部の近くでは、シリコン系のシール材・充填材は使用しないでください。やむを得ず、使用するときは、シール材・充填材が十分乾いてから検知部の取り付けを行ってください。

ガス検知センサに悪影響をおよぼす恐れがあります。

- ②閉端圧着スリーブの接続部を充填材で埋め、接続部分を1本ずつビニルテープで巻いて処理する。

⚠ 注意

ケーブルの接続部は、直接水がかかったり、水没の恐れのある場所には置かないでください。ケーブルの施設場所の状況に応じて、接続部をボックスに収めたり、ケーブルを保護管に入れるなどの処置をしてください。（ただし、接続部は保護管内に入れないでください。）
作動不良になる恐れがあります。



■LPG充填時および設備点検時のお願い



必ず行う

LPG充填時はガス検知部をプロテクタの外側に一時的に移動させてください。

プロテクタ内に設置したままですと、充填時の微量のガスを検知し、誤通報を発することがあります。



必ず行う

プロテクタ内配管のガス漏洩検知を行う際には、携帯式ガス検知器（弊社製可燃性ガス検知器XP-702 II Z）あるいは石鹼液、石鹼液系のガス漏洩検知液をご使用ください。

シリコン系または、イオウ系のガス漏洩検知液を使用するとガス検知センサが鋭敏化し、誤通報を発することがあります。

5.点検方法(取り付け後の点検および日常点検)

電源投入後約6分間点検機能(点検モード)が働きます。
この間に作動点検を行うと、警報確認および信号出力
(NCUや外部機器)の確認が容易に行えます。

⚠ 警告

必ず付属の点検ガスを使用してください。
それ以外のガスを使用すると、ガス検知セン
サに悪影響をおよぼす恐れがあります。

〈準備するもの〉

- 点検ガス(付属品)
- 点検用ポリ袋(チャック付き)(付属品)

〈取り付け後の点検の場合〉

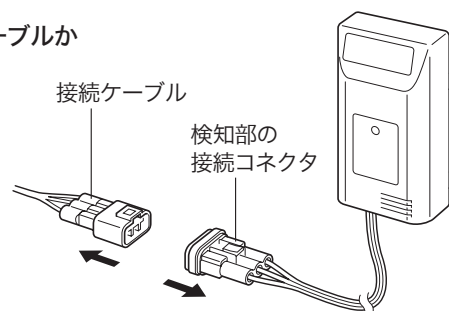
- ①警報部の電池ボックスに、単2形アルカリ乾電池(2本)を入れる。

■ガスもれ警報とその他の警報を分けて出力する場合

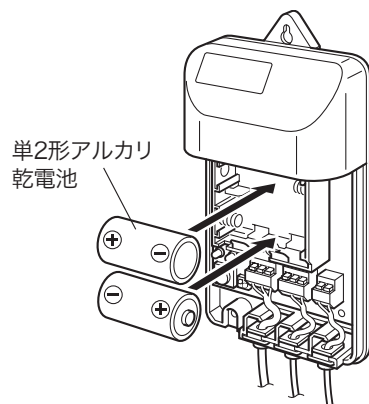
- 1)確認ボタンを押しながら、警報部の電池ボックスに、単2形アルカリ乾電池(2本)を入れる。
- 2)作動表示ランプ(緑)が3回点滅し、設定が完了したことをお知らせします。

〈日常点検の場合〉

- ①検知部の接続コネクタを接続ケーブルから外す。



単2形アルカリ乾電池



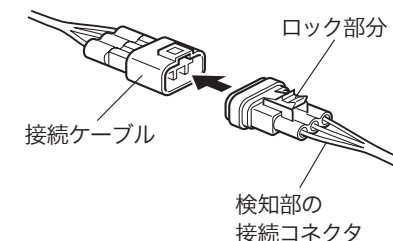
⚠ 注意

使用する電池は、2本とも使用期限内の新しいものにしてください。
液もれ・発火の恐れがあります。

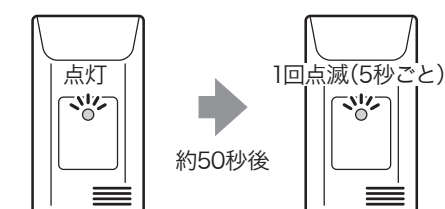
〈おねがい〉

- 電池交換する際に、火花の散る恐れがあります。バルク貯蔵設備※1から2mまたは5m以上離して電池を入れてください。
※1：貯蔵設備が300kg以上1000kg未満は2m以上、1000kg以上3000kg未満は5m以上
- 必ず単2形アルカリ乾電池を使用してください。それ以外の電池を使用すると、電池寿命が短くなることがあります。

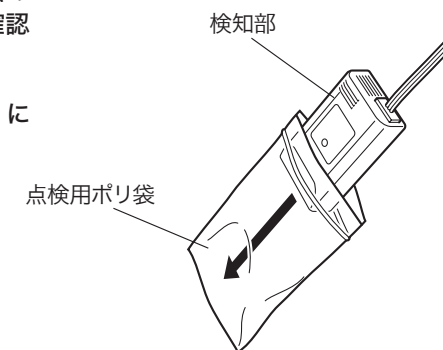
- ②接続ケーブルの接続コネクタを検知部の接続コネクタに差し込む。(電源投入)
検知部の警報ランプ(赤)が点灯します。
※コネクタのロック部分がカチッとほまるまで確実に差し込んでください。



- ③約50秒後、検知部の警報ランプ(赤)が5秒ごとに1回の点滅に変わります。
このとき、警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(緑)が5秒ごとに1回点滅します。
※上記のようなランプ表示にならないときは、接続ケーブルのトラブルが考えられます。P.10の一覧表の「検知器の動作一覧表」を参照して、原因を確認し、対応してください。



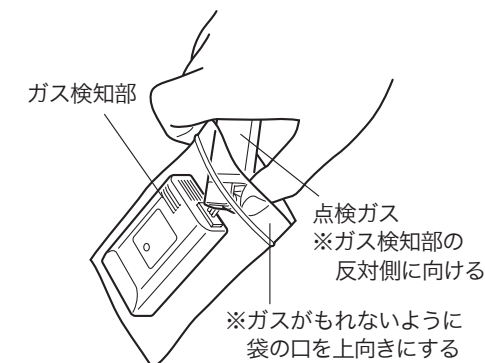
- ④検知部を点検用ポリ袋(チャック付き)に入れる。



- ⑤点検ガスの先端を、図のように点検用ポリ袋に入れ、レバーを押さえて、約1秒間ガスを注入する。

⚠ 注意

点検ガスの注入は、必ず約1秒以内に行ってください。
ガス濃度が濃すぎると、ガス検知センサに悪影響をおよぼす恐れがあります。



5.取り付け後の点検

⑥袋内のガスができるだけもれないように、点検用ポリ袋のチャックを閉め、約40秒程度待つ。(ガスの量によっては、80秒程度待つ場合もあります。)

⑦ガスを検知すると、検知部の警報ランプ(赤)が5秒ごとに3回の点滅に変わり、信号を出力(NCUや外部機器へ)します。このとき、警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(赤)が5秒ごとに3回点滅します。

⑧検知部を点検用ポリ袋から取り出し、検知部取付位置に取り付ける。

⑨ガスがなくなると、検知部の警報ランプ(赤)は10秒ごとに1回の点滅に変わり、検知器は監視状態になります。このとき、警報部の確認ボタンを押すと、作動表示ランプ(緑)が5秒ごとに1回点滅します。

※点検ガスを吹きかけ過ぎたり、濃いガスがかかった場合は、警報からの復帰に時間がかかる場合があります。

通常は、点検モード終了時(電源投入から約6分)に警報から復帰します。

⑩点検終了後、警報部の端子カバーを閉める。

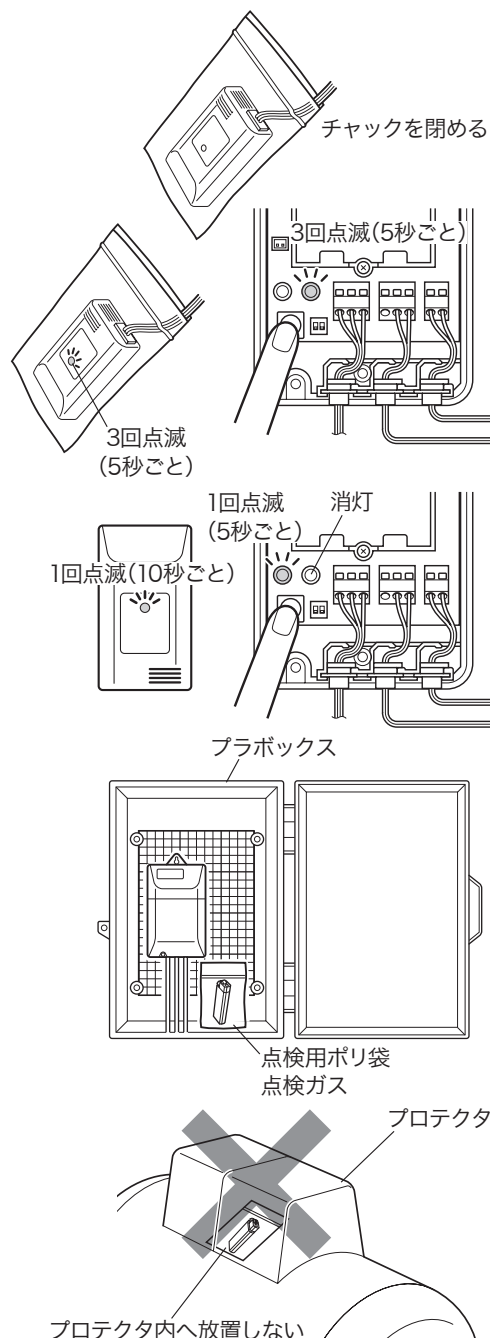
〈おねがい〉

接続ケーブル、NCU信号線、外部機器との接続線を端子カバーではさまないように注意してください。

※点検ガスは、点検用ポリ袋とともに警報部を納めているプラボックス内に保管するか、持ち帰って保管してください。

⚠ 警告

点検ガスをプロテクタ内に放置しないでください。温度上昇による爆発などの恐れがあります。



保証書

商品名 バルク用ガス漏れ検知器 型式 XH-611EB/GD-5B(検知部)

このたびはバルク用ガス漏れ検知器をお求めいただき誠にありがとうございました。万一、保証期間中に異常を生じた場合は、速やかに販売店に連絡し本書を提示してください。次の要領で下記の者が点検または交換いたします。

保証期間 お取り付け日より1年間。
保証適用 取扱説明書に基づき正しく使用され、故障が製造上の責任による場合は無償で交換します。
保証の範囲 保証は機器本体を対象とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。また、電池などの消耗部品も保証の対象ではありません。
保証適用除外 以下の保証の適用除外項目に記載してある事項の場合。
保守点検 検知器の異常等のお申し出がありました際に無償で次の保守点検をいたします。ただし集中監視については別途保守契約によります。
(1)点検ガスまたは点検具(チェッカー)を使用しての作動試験。
(2)誤報発生の有無の確認(聴取による)。
(3)設置場所の適否についての検討。

お取り付け日	年 月 日
(実施者) 販売者	(販売店は必ず記入してください)
(保証者) 発売元	
(保証者) 製造元	新コスモス電機株式会社

※保証の適用除外

この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。

- (1) 使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。
- (2) 火災、天災、異常電圧、異常温度等の不可抗力による故障または損傷。
- (3) 取付位置が高温多湿等著しく不適当な場所に取り付けられた場合。
- (4) 液化石油ガス以外のガス、水等の液体、動植物による故障または損傷。
- (5) その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃等による故障または損傷。
- (6) 本書の提示がない場合、ただし本書は日本国内のみ有効です。
- (7) 本書に販売店名の記入のない場合。
- (8) その他製造事業者の責任によらない汚損、故障または損傷。

※お願い

- (1) 検知器の作動確認は付属の点検ガスで点検してください。
- (2) 本書は再発行しません。紛失しないように大切に保管してください。
- (3) 有効期限を過ぎたものは、必ず新しいものとお取り替えください。

この保証書はお客様の民法または商法上の権利を制限するものではありません。この検知器についてご不明の点がありましたらお求めの販売店にお問い合わせください。

お客さま	ご芳名	TEL
	ご住所	